

New

Renewal

DX  
対応コースGX  
対応コース

Online

競技会

セット受講

## 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名			期 間		
2403	汎用フライス盤保守点検技術			令和6年 9月10日(火)～ 9月11日(水)		
開催会場	近畿職業能力開発大学校附属滋賀職業能力開発短期大学校 (滋賀県近江八幡市)			定員	日数	
				10	2	
研修種別	技能・技術分野	機械設計・加工	技能・技術レベル	L2	技能・技術要素	フライス盤(応用)
研修のねらい 及び 到達目標	<p>フライス盤の保守点検は重要であり、定期的な点検を実施し、機械の状態を把握し、必要なメンテナンスを適切に行うことが求められます。機械精度の維持、安全性の確保、機械の寿命延長、生産性の向上が実現するために、フライス盤の保守点検技術を取得します。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フライス盤の構造を理解し、フライス盤の静的精度検査方法を習得できる</li> <li>・ギブ調整方法を習得できる</li> </ul>					
最低限 必要な知識						
研 修 内 容	項 目 (予 定)			講義	実技・演習	
	1 フライス盤の構造と仕組み (1) 主軸 (2) テーブル、カミソリ			1 H		
	2 フライス盤のレベリング (1) レベルの基本的な合わせ方					
	3 JIS 規格による精度検査方法 (1) 静的精度検査の確認 (2) 検査成績表 (3) 振り回しとニーの関係				1 H	
	4 簡易精度検査法の実技実習				3 H	
	5 ギブ調整方法の実技実習 (1) Y 軸ギブ調整 (2) サドルギブ調整 (3) X 軸ギブ調整 (4) Z 軸ギブ調整				5 H	
	6 定期点検 (1) 点検表 (2) 保守点検要領				1 H	
	7 質疑応答、習得度確認 訓練成果のまとめと展開方法のディスカッション				1 H	
			1 H	11 H		
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	施設のフライス盤の現状の把握、高精度な加工作業の維持、作業者の安全を確保する技術が身につきます。 競技会の準備時間で実施する機械の精度検査する技術が身につきます。					
研修成果が 活用できる 職務	職務 1		職務 2		職務の内容	
	フライス盤加工		六面体加工		加工準備	
	機械保全		機械的修理		分解・組立・調整	
担当教員 (ユニット)	古賀 俊彦、松本 拓哉 (機械加工ユニット)、二宮 敬一 (機械設計ユニット)、部外講師					
使用する 機器等	(株)エツキ SMF-V					
受講者が用意 するテキスト (予定)						

実  
技  
能  
・  
研  
修  
術